

平成29年6月17日提出

日付	平成 29年 6月 10日 (土)			
場所	天神福岡ビル		記録者名：西山 直美	
出席者 (敬称略)	古森病院 吉田 恵理	津屋崎中央病院 大塚 陽子	有吉病院 吉田 信代	北九州湯川病院 岩見 実穂子
	東福岡病院 鬼塚 奈緒子	北九州古賀病院 秋篠 あい子	杉病院 伊東 加津子	飯塚稲築病院 村井 利香
	福岡和仁会病院 山崎 輝美	東福岡和仁会病院 西山 直美		
テーマ	スピーチロックの現状と課題「継続させること」「風土づくりをするためには」			
結論	唱和する・ポスターを貼るではその期間は良いが、継続することはできなかった。グループ内は主任や抑制委員で、まず自分自身がモデルとなることで、スタッフ指導につながるのではないかと。言葉使い、態度（代替言葉の実践）			
決定事項	<p>共通項目として「スピーチロックについての意識調査」3. スピーチロックをなくすために必要とされることより、①こころにゆとり、やさしさ、丁寧さを持って接する④抑制的言葉の代わりにみつける⑤言葉・表情・目線を合わせてコミュニケーションをとる⑥職員間でも丁寧語に変えていく⑦職員間で注意しあう、話し合う環境</p> <p>上記項目を他者評価してもらい自分が出来ていない所を見つけ、(自分の傾向を知る)実践していく。代替言葉については、同じ一覧表を活用する</p>			
備考	<p>今回の司会：山崎 輝美</p> <p>*評価については実践前（6月）実践後は8月の研修発表後に決める</p>			
次回討論項目	自分の出来ていない所を踏まえて、実践内容の発表			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@fukuokakenryo.jp

(FAX.092-691-3961)